

第 3198 回例会記録 日時:2026年3月5日(木)12:30~ 会場:ホテルサンシャイン2F	本日のプログラム	次回のプログラム
	3月12日(木)18:00~ 夜間例会	3月26日(木)12:30~ 委員会担当例会
佐渡正幸ガバナー地区スローガン Rotaryのことを熱く語ろう!~Rotarian Benefitsを紡ぎ、そして育むために~		
大西孝弘会長テーマ ただひとつ 原点回帰		

会長報告 大西会長

皆様、こんにちは。

本日の例会、職業奉仕委員会担当例会へご参加いただきありがとうございます。

また本日の職業奉仕表彰にお越しいただきました、遠軽高等学校山岳部 元顧問の畑野和宏(はたの かずひろ)さんにおかれましては、お忙しい中お越し下さいまして、会を代表し御礼申しあげます。後ほどよろしくお願いたします。

さて本日の会長報告ですが、今月3月は「水と衛生」が月間テーマです。私たちロータリアンが、清潔な水と基本的な衛生環境が全ての人の健康と尊厳を支える基盤であることを、改めて認識する月です。世界には、安全な水や衛生設備を利用できない人が25億人以上いると言われています。これは、地球上の3人に1人が、健康的な生活を送る上で基本的な権利を奪われていることを意味します。そのため、ロータリークラブは、世界中の地域社会で水と環境衛生の改善に取り組んでいます。これはロータリーの重点分野の一つであり、すべての人が安全な水、衛生設備、衛生習慣にアクセスできるようにすることを目的としています。

このような活動も我々がおこなっております、ロータリー財団への寄付を通じて支援していることを改めてご認識いただき、今月の月間テーマの水と衛生の問題に関心をよせていただければ幸いです。

最後に前回2月26日の例会で報告致しました丸尾国弘さん・奥山睦規さん2名の入会について、異議申し立てがありませんでした。よって3月26日付で入会の手続きを進めてまいります。入会式については、3月26日を予定しており、3月12日次週の夜間例会に丸尾さんがオブザーバーとして参加いただけることをご報告いたします。

それでは本日の例会よろしくお願いたします。

幹事報告 前島副幹事

報告事項が7件あります。

1. 3月の例会プログラムについてです。

5日 委員会担当例会 職業奉仕委員会 職業奉仕表彰

12日 夜間例会 秋元会員の入会式

19日 休会

26日 委員会担当例会 担当は出席委員会

2. 「財団室 NEWS 2026年3月号」と「ガバナー月信 2026年3月号 (Vol.9)」が届いております。本日回覧しております。

3. 「第2500地区 ローターアクト第51回地区大会 本登録に

ついて」令和8年6月6日(土曜日) 富良野文化会館での開催となります。

4. ガバナー事務所より「環境問題オンラインセミナーのご視聴のお願いについて」ご案内が届いております、本日回覧しております。なお、視聴期限は6月末までとなっております。

5. 3月20日開催のIM参加の皆さんへ配車表を本日配布しておりますので、ご確認お願いいたします。なお、参加人数は12名となっております。

6. 4月22日水曜日6時より新旧理事会をタカハシイン様2Fで開催いたします。出席義務者の新旧理事の方はよろしくお願いたします。該当者の皆様には本日案内文を配布しております。

7. 今月のロータリーレートは1\$156円です。

委員会報告 朝長親睦活動委員長

3月誕生日、結婚記念日、花、記念品贈呈

誕生日 西野事務局員、佐藤直也会員、吉田会員、山田会員、藤田会員、茶木会員

結婚記念日 棚橋会員、河原会員、橋本会員、前田会員、渡辺勉会員

中間決算報告 佐藤健治会計

遠軽ロータリークラブ 2025年7月1日から12月31日までの収支決算報告や対前年同期との比較をコメントしました。

本日のプログラム 職業奉仕表彰 職業奉仕委員会

高井職業奉仕委員長より職業奉仕表彰 受章者紹介

畑野和宏さん 遠軽町出身 北海道大学卒

1985年湧別高校より教師生活をスタートさせる

その後、北海道内各地を経て母校である遠軽高校に2007年着任、18年間勤務されました。陸上競技をはじめとしてスポーツ万能の方であります。

今回の職業奉仕表彰は、遠軽高校において山岳部の顧問を務められ、昨年の退職後も非常勤顧問として山岳部の指導や、ご自宅の敷地内にジムを整備し、退職後も継続してボルダリングの技術向上に努められ、更には地域の子供たちへ普及・指導にも熱心に取り組まれております。

その功績に感謝の意を表し、大西会長より賞状と記念品を贈呈いたします。

畑野和宏様よりゲスト卓話

本日はこのような賞をいただきまして本当にありがとうございます。昨年3月まで遠軽高校に勤務しておりました。今は退職して無職ですけども、登別高校時代からスポーツクライミングの指導をしておりまして、遠軽高校に来てからもクライミングの指導を続けておりますが、今日は高校の部活動もそうですが、『ちびクライミング』という名前でご二十数年間、小中学生の活動をしております。その活動の話も含めてスポーツクライミングを通じたボランティア活動ということでお話しさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

畑野和宏氏が取り組んでいる『ちびクライミング(通称:ちびクラ)』は、地域の小中学生を対象としたスポーツクライミングの指導・普及活動です。主な活動内容は以下の通りです。

指導対象と規模: 主に小中学生を対象としていますが、現在は3歳児も参加しています。通常は毎週1回、6人から8人程度で活動していますが、多い時には一度に20人以上が集まることもあります。

活動頻度: 週に1回のペースで、年間30回から50回ほど開催されています。夏休みや冬休み期間中も継続して行われています。

指導体制: 畑野氏だけでなく、畑野氏が顧問を務めている遠軽高校山岳部の部員たちも、社会奉仕の一環として小中学生の指導にあたっています。

具体的な活動内容: 畑野氏の自宅敷地内にある私設のクライミングジム(ボルダリング壁や高さ約7mのリード壁)を使用して練習を行います。

幼児(3歳児など): 自力で登ることは難しいため、大人が支えながら登らせたり、ロープを使ってブランコ遊びをさせたりするなど、まずは楽しむことから始めています。

小学生以上: 本格的な技術指導が行われており、中には高校生でも苦戦するような難しいルートを登るほどの実力を持つ小学生も育てています。

活動の成果: この活動は13~14年続いており、現在、遠

軽高校山岳部に所属する生徒の約20%が「ちびクラ」の出身者です。

畑野氏はこの活動を通じて、子どもたちに「感動は努力に比例する」ことを伝えたいと考えており、安全に楽しくクライミングに親しめる環境を提供しています。

自宅敷地内に建設したクライミングジムは、既存の建物を改造したものではなく、ゼロから建設された専用の施設です。その規模は「自宅とほぼ同じ大きさ」と言及されており、主に以下の2つのエリアで構成されています。

1. ボルダリング壁(2009年建設)

規模: 高さは3m 60cmあります。

特徴: 命綱(ロープ)なしで登るための壁です。安全のために厚いマットが敷かれており、体重100kgの生徒が落下しても耐えられるようになっています。

2. リードクライミング用の大きな壁(2012年建設)

規模: 高さは7m 20cmです。これは室内にあるシャンデリアの位置(約4m)の倍近い高さに相当します。

構造: 建築的な制約により、公式大会に必要な12mの高さは確保できませんでしたが、その分、壁の形状を工夫しています。

設備: 壁にはホールド(突起物)がびっしりと取り付けられています。また、90度以上の傾斜がある「ハング」した部分や、天井のような場所を這って登るような難しいルートも設置されており、初心者から上級者まで練習できる環境が整っています。

このジムは、畑野氏が私財を投じて建設したものであり、現在は遠軽高校山岳部の練習拠点としてだけでなく、地域の小中学生を対象とした「ちびクライミング」の活動場所としても活用されています。

自身の私設ジム(畑野ウォール)での練習には限界があり、次世代(後継者)の育成を継続するためには、組織化の必要性や、より公的で充実した練習環境の整備、支援が重要であると考えています。

<文責:宇野メディア委員長>

■Today's Snap!



3月誕生日おめでとうございます!



3月結婚記念日おめでとうございます!



畑野和宏様職業奉仕表彰受章

■ニコニコBOX

佐藤直也会員、吉田会員、山田会員(誕生日 5,000円)
棚橋会員、前田会員、渡辺勉会員(結婚記念日 5,000円)

2025-26年度累計 450,060円

■出席報告

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
3/5	45	44	26		59.1	

■編集・発行:メディア委員会

委員長:宇野勝 副委員長:佐藤直也
委員:植村涼子・黒坂貴行・長嶋宏明・吉田昌子